

# 後年度・中期目標事業沖繩振興特別推進市町村交付金事業 成果一覽

令和4年2月

那覇市	1	嘉手納町	16
宜野湾市	3	北谷町	17
石垣市	4	北中城村	17
浦添市	5	中城村	18
名護市	6	西原町	-
糸満市	9	与那原町	18
沖繩市	9	南風原町	19
豊見城市	9	渡嘉敷村	20
うるま市	10	座間味村	20
宮古島市	10	粟国村	20
南城市	11	渡名喜村	20
国頭村	12	南大東村	21
大宜味村	12	北大東村	21
東村	12	伊平屋村	21
今帰仁村	13	伊是名村	-
本部町	13	久米島町	22
恩納村	13	八重瀬町	22
宜野座村	13	多良間村	-
金武町	14	竹富町	23
伊江村	14	与那国町	23
読谷村	15		

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 5	後年度	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ～ H30	観光客が道路を安全で快適に移動できるよう、道路の環境改善を図るため、基礎調査を行う。	R4	【R4成果目標】 本事業により整備した道路において、観光客へのアンケート調査等を実施し、安全・快適に移動できるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・久茂地泊線の一部を整備した。	-
01 那覇市	1 27	後年度	観光協会ホームページ強化事業補助金	R1	安心安全に繋がる情報を提供することで良好な観光地のアピールを図るため、観光協会ホームページのリニューアルに対し支援を行う。	R2	【R2成果目標】 ・ページビュー月平均約21万件 ・本事業について、ページ閲覧者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・アンケート未実施	未
01 那覇市	1 28	後年度	「なはでナイト」開発事業	R1	本市における観光客の活動時間の延長、市内消費機会の増加を図るため、夜型観光エンターテインメントの創出・発信に向けた事前調査業務を実施する。	R3	【R3成果目標】 観光客の市内ナイトコンテンツに対する満足度80%以上	-	-
01 那覇市	1 33	後年度	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H30	沖縄らしい風景づくりを促進し、観光地の景観としてふさわしいデザインを創出するため、公共デザインマニュアル案を作成する。	R3	【R3成果目標】 本事業による公共デザインマニュアルを活用し整備した施設周辺において、観光客へのアンケート調査等を実施し、観光地の景観としてふさわしいデザインであると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	公共デザインマニュアルを活用した設計調整を行い、土木構造物や公共施設、公共サインの施設整備を行った。	-
01 那覇市	1 36	後年度	貸切バス乗降場・待機場整備事業	H30	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図る。	R2	県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バスの一日平均流入台数:2割減	未計測。 旅行需要の回復後(次年度以降?)に計測を実施する。	未
01 那覇市	1 37	後年度	物語性のあるランドマーク創造事業	H29 ～ R1	平成29年度新規事業「物語性のあるランドマーク創造事業」にて構築した「ランドマーク戦略プラン」を展開し、プランで設定したストーリー・物語を観光客への認知度の向上を図る。	R3	【R3成果目標】 ・SNSフォロワー数:630人 ・SNS投稿に対するリーチ数:平均300	・SNSフォロワー数:137人	-
01 那覇市	1 43	後年度	首里金城町無電柱化推進事業	H25 ～ R1	電線類を地中化することで景観に配慮した昔ながらの風景を再生し、更なる観光地としての魅力向上を図るため、電線共同溝概略設計及び電線管理者が実施した配線計画に対する補償を行う。	R4	【R4成果目標】 本事業により整備した地域について、観光客へのアンケート調査等を実施し、観光地としての魅力が向上したか 80%以上	・沖縄ブロック無電柱化推進協議会にてR3～R7年度までの5カ年間計画を検討中である。 ・上記計画に位置付け次第、街路事業にて事業を推進する計画である。	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 8	後年度	なは産業支援センター機能強化事業(駐車場整備)	H28 ~ H30	本市の産業振興を支える企業の育成支援施設「なは産業支援センター」の機能として不足している駐車場(自走式駐車場)の機能拡充を図る。	R1	駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか 80%以上	・アンケート未実施	未
01 那覇市	3 12	後年度	まちなか商店街再生プロジェクト事業	H29 ~ H30	那覇市の中心商店街への来街者増加を図るため、道路を活用したまちなか商店街の再生計画案を作成する。	R2	【R2年度の成果目標】 通行人数 140,000人	通行人数:64,451人	未
01 那覇市	3 12	後年度	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)活性化基礎調査	H28	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の活性化を図ることを目的とし、施設利用状況等の把握、利用者実態調査等を踏まえ、今後の課題及び方向性を検討するための基礎調査を実施する。	R3	【R3成果目標】 通行量(牧志公設市場衣料部前):6,000人	・基礎調査の結果及び審議会答申を踏まえ、令和3年度末をもって市場を廃止とする方針を決定した。 ・市場事業者へ廃止の方針を説明し、移転補償額算定調査を実施した。	-
01 那覇市	3 15	後年度	国際通りトランジットモールビジョンづくり支援事業	H29	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、今後の国際通りトランジットモールのあり方について、アンケート調査や商店街等関係者による会議等を開催、ビジョンを策定し、商店街の活性化と商業の振興を図る。	R3	【R3成果目標】 賑わい創出に向けた取り組み(オープンカフェや夜市等)の実証実験を行い、取り組みに対する満足度をアンケート調査を実施し、満足度80%	新型コロナウイルス感染症拡大の中、安全に実施できるトランジットモールの運用の検討を行った。	-
01 那覇市	3 16	後年度	商店街アーケードビジョンづくり支援事業	H29	誰もが安全・安心・快適に買い物や散策が楽しめる魅力ある中心商店街の商環境整備のため、老朽化したアーケードの権利関係や現地調査、関係者へのアンケート調査などを行い、商店街関係者によるアーケードビジョンづくりを支援する。	R5	【R5成果目標】 平和通り商店街の老朽化したアーケードの撤去、代替案の整備開始	ビジョンを具体的な計画とするため、平和通り商店街振興組合理事会、総会での検討を継続している。	-
01 那覇市	4 2	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ~ H29	新港ふ頭の国産コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため、既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行う。	R3	【R3成果目標】 那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量:76万トン	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量(速報値):78万	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	4 3	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制を図るなど良好な港湾環境の改善をはかるため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	船舶運航事業者へアンケートを行い、観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか 80%以上	・アンケート未実施	-
01 那覇市	5 1	後年度	活き活き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ R1	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	R2	【R2成果目標】 供用開始後1年目(R2年度)の目標を以下のとおりとする。 ①外国人観光客の対応のための講座参加者数 5,600人以上 ②伝統文化活動、地域交流活動の活動者 10,700人以上 ③外国人との交流参加者 1,200人以上	①422人 ②3,483人 ③16人	未
01 那覇市	7 11	後年度	文化芸術発信拠点施設整備事業(バレット)	H24 ～ H30	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、バレット市民劇場において、施設整備と機能強化を図る。	R2	【R2成果目標】 年間利用者数61,000人以上	年間利用者数8,830人	未
01 那覇市	11 1	後年度	水資源有効利用推進事業	H24 ～ H29	水資源の有効利用及び地下水かん養や雨水流出量による浸水被害の軽減・流量抑制に資するため、住宅又は店舗・事業所等に雨水施設又は井戸水を利用するための施設を設置又は修繕等するものに対し、予算の範囲内で、その経費の一部を補助する。 ・雨水施設等設置費補助件数:20件	H30	設置施設の利用頻度 80%以上(週に1回以上)	設置者へのアンケート調査 (設置施設の利用頻度:87.5%)	◎
01 那覇市	12 2	後年度	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ～ H30	長期未着手の都市計画道路について、住民の理解を得ながら、道路の整備計画を進めるため、予備設計等の準備を行う。	R2	【R2成果目標】 当該事業の実施後における都市計画変更に向けた手続きを進める中で、変更案に対する地域住民等の理解度(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	変更案に対する地域住民等の理解度:72.5%	○
02 宜野湾市	1 ①	後年度	道路景観整備事業	H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	R2	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート未実施	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	5	② 後年度	防災情報システム整備事業	H29 ～ R3	大規模災害時において、避難所間の情報収集、共有を的確に行い、適切な被災者支援を図るため、高速無線LANネットワークの構築や沿岸監視カメラの設置等、総合的な防災情報システムの整備を行う。	R2	【R2成果目標】 整備した防災情報システムを活用した避難訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	システム構築未完了のため、未実施	未
02 宜野湾市	10	1 後年度	宜野湾市情報通信産業振興施設計画策定事業	H30	平成29年度実施「宜野湾市情報通信産業振興施設PFI基本構想・事業手法検討調査業務」の結果をふまえ、施設の基本計画の検討及び民間活用型事業としての事業推進のための準備を行う。	R6	【R6成果目標】 基本構想及び基本計画を踏まえて、情報通信関連企業等の入居企業数等の産業振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした運営を実施する。	-	-
02 宜野湾市	11	1 後年度	宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30 ～ R1	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	R3	【R3成果目標】 入居企業数 10社	-	-
02 宜野湾市	13	1 後年度	宜野湾市みどりの風景づくり推進事業	R1 ～ R3	自然環境の保全・再生、みどりに包まれた魅力的な都市環境の創出に向けて、官民一体となった緑地の保全や緑化の推進に関する方針を定めるための基礎調査を実施する。	R2	【R2成果目標】 基礎調査結果を踏まえて緑地の保全・推進に係る将来の目標値を設定し、目標値に対応した各種施策を実施・検証する。	基礎調査結果を踏まえて緑地保全・緑化推進に係る将来の目標及び施策についての検討を行った。	未
03 石垣市	1	⑦ 後年度	石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ H30	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館大ホール舞台機構の機能強化を行う。	R4	【R4成果目標】 島外のイベント会社等が主催する公演数:5件	-	-
03 石垣市	5	2 後年度	明石地区避難道路整備事業	R1	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、予想される大地震時における津波避難道路を整備する。	R2	【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未実施 (予定していた避難訓練の実施には至っていないが、整備前の利用者14世帯に対し、整備後は同避難経路を活用すると回答した者20世帯で42.9%増と目標値を上回っている。)	未
03 石垣市	5	3 後年度	消防救助資器材等整備事業	H30 ～ R1	災害時、陸路からの進入・救助が困難な場合に、上空からの的確な監視等により、迅速かつ効率的な救助支援活動を行うため、ドローンを導入する。	R2	【R2成果目標】 ドローンを活用した救助訓練(年12回)を実施する中で、ドローン導入前よりも救助が迅速かつ効率的になったかを含め、消防や関係団体と協議して本事業のあり方について検証	【R2成果目標】 ドローンを活用した救助訓練:年18回	◎

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ⑧	後年度	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業	H28 ～ H29	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規加工商品の開発や販路拡大に向けた環境整備と体制の構築を目指すため、生産農家、流通業者、加工事業者等関係機関と協働し、方向性及び取り組み内容を盛り込んだ振興プランを策定する。	R4	【R4成果目標】 野菜・ハーブの生産者戸数84戸	野菜・ハーブの生産者戸数70戸	-
04 浦添市	1 ①	後年度	浦添市来々々推進事業	H24 ～ R2	住民の生活環境の向上及び新たな観光スポット等の創出を図るため、地区ごとのまちづくり整備計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	事業化までには至っていない。	未
04 浦添市	2 ③	後年度	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24 ～ R1	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の道路に、沖縄らしい風景づくりとしてコーラル舗装をイメージした乳白色のカラーアスファルト舗装を施し、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成を図る。	R2	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
04 浦添市	2 ④	後年度	カーミージー地区海浜公園整備事業	H28 ～ H30	良好なサンゴ礁群と砂浜が残るカーミージー地区周辺に、市民の自然環境保全への理解を深めるための体験学習・環境教育や、観光誘客のためのエコツーリズムの拠点となる施設及び公園を整備するため、過年度において策定した計画を基に、施設配置や施設の形状、植栽等について概略の設計を行う。	R6	【R6成果目標】 カーミージー地区で開催する体験学習・環境教育への参加者に対してアンケートを行い、自然環境の保全への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	-	-
04 浦添市	4 ③	後年度	浦添市観光振興計画策定事業	H28 ～ H29	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。	R2	【R2成果目標】 浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	事業化までには至っていない。	未
04 浦添市	5 ②	後年度	浦添市企業立地・雇用施策方針策定事業	H28 ～ H29	本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実を図るため、社会的に流動的な雇用情勢に対応した中期的計画となる「企業立地雇用施策方針」を策定する。	R2	・企業立地雇用施策方針に基づき、雇用施策の実施につなげる。 ・2020の国勢調査における、就業者数の増3,700人	・企業立地雇用施策方針に基づき、各種施策の実施。 ・2020の国勢調査における、就業者数の増	-

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
04 浦添市	6 ③	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	観光客を受け入れる港として、停泊中の船舶からの排気ガス削減や騒音を抑制し、快適な環境の確保を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	未実施	-
04 浦添市	6 ④	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ~ H29	新港ふ頭の国際コンテナターミナルに設置されている、冷凍食品等低温輸送用コンテナのためのリーファー電源を増設することで、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応し、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。	R3	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加 76万トン	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加 78万トン	-
04 浦添市	7 ②	後年度	スポーツ振興事業	R1	室内球技のスポーツ大会、スポーツ合宿の誘致を図るため、体育施設へ高機能床材を導入する。	R2	【R2成果目標】 ・日本ハンドボールリーグ公式戦開催回数:3回以上/年 ・室内球技のスポーツ合宿団体数:1団体以上/年	【R2成果目標】 ・日本ハンドボールリーグ公式戦開催回数:2回以上/年 ・室内球技のスポーツ合宿団体数:0団体以上/年	未
04 浦添市	5 1	後年度	創業者定着支援事業	H28 ~ H30	市内における創業者数の増加及び安定的な継続創業を図るため、創業・ビジネス情報を発信するとともに、創業・ビジネスコンテストで選定した事業者に対し、専門家によるハンズオン支援、セミナー開催等による創業者等を支援する。	R6	【R6成果目標】 定着率:60%以上  ※定着率とは、本事業で支援した事業者が、支援終了5年後も市内で事業を行っている割合を表す。	-	-
05 名護市	2 ②	後年度	まちなか多言語案内サイン整備事業	H29	市内の観光スポットを記した案内板や誘導看板を設置し、観光地及び市街地周辺へ観光客を誘導するとともに外国人観光客の移動の利便性を高める。	R4	多言語案内版等により外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)	-	-
05 名護市	2 ③	後年度	第2次名護市観光振興計画策定事業	H30 ~ R1	観光誘客を図るため、第2次観光振興計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 策定した計画について、(仮称)名護市観光審議会で観光施策の進捗管理や見直しを行うことで(年2回以上)、観光施策の在り方を検証する。	懇話会の開催(1回)	未
05 名護市	2 ④	後年度	やがじ夢の懸け橋事業	H27 ~ H29	地域観光産業の振興や定住促進を目指して、同地域におけるツーリズムに関しての地域振興計画を策定するとともに、民泊事業者と連携したモニターツアー、ワークショップ等を実施する。	R2	修学旅行受入校数:140校	0校	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ⑤	後年度	名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ R1	地域事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、ワークショップ研修、個別支援、テストマーケティング等を実施し、地場産業の育成と地域の活性化を図っていく。	R2	令和元年度に開発した商品の販路拡大支援:2商品	2商品	◎
05 名護市	2 ⑤	後年度	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30 ～ R1	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点(無線LANアクセスポイント)を整備する。	R3	【R3成果目標】外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	-	-
05 名護市	2 ⑥	後年度	観光地周辺環境整備事業	H29	市内観光地であり、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の環境整備として公衆トイレを整備し、観光客の利便性と満足度を高める。	R2	市内観光施設入込客数(暦年) 5,501千人	2,347千人	未
05 名護市	2 ⑥	後年度	名護・やんばるの自然と文化拠点施設整備事業	H30 ～ R1	名護・やんばるの観光振興及び自然や文化の保全・継承に寄与することを目的として、地域の自然と文化に関する情報収集、発信、研究などの機能を備えた総合的なガイドダンス拠点となる施設を整備する。	R4	【H34成果目標】利用客数 2.4万人以上	-	-
05 名護市	2 ⑧	後年度	自転車まちづくり普及事業	R1	健康増進や環境にやさしい交通手段として自転車を市民等に広く普及させ自転車愛好家等を増やすため、サイクルツーリズムを推進する。	R2	【R2成果目標】 ①市HP(自転車普及イベント、多言語サイクリングマップ)へのアクセス数:5,000回 ②HPでアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	①332回 ②66%	未
05 名護市	2 ⑨	後年度	名護市産業支援センター機能強化事業	H30 ～ R1	更なる企業誘致による雇用の創出を目的に、名護市産業支援センターの5階フロアに一般オフィス、会議室、トイレ等を整備する。平成30年度は設計委託を行う。	R2	【R2成果目標】名護市産業支援センター5階フロアの雇用者数 28名	0名	未



## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ⑩	後年度	21世紀の森公園機能強化事業	R1	キャンプの誘致及び市民の健康増進を図るため、また、観光客の利便性(満足度)を確保するため、新名護市営球場において、トレーニング器具整備等や、満足度向上に向けた各種整備を行う。	R2	【R2成果目標】 ①キャンプ誘致数6チーム、トレーニングルーム利用者数4,900人 ②観光客等へのアンケートで、レリーフ等の整備により、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	①6,754人 ②未実施	△
05 名護市	5 ②	中期的	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24 ～ H28	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	R2	アグリパーク来場者数:300,000人	50,593人	未
05 名護市	5 ③	後年度	名護市食鳥処理施設整備事業	H28	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	R5	【R5成果目標】 処理羽数:17,000羽/日	13,926羽/日	-
05 名護市	6 ④	後年度	名護市普通河川整備事業	H29 ～ R1	集中豪雨により浸水している箇所や、河口域から入ってくる波が越波し被害を及ぼしている箇所、河口閉塞を起こしている河川の災害防止を図る。また、治水と自然を共存させた整備を行うことで環境の保全、再生を図り豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。	R4	整備した河川周辺での環境学習参加者数:20名	-	-
05 名護市	8 ①	後年度	名護市工場適地等構想地調査事業	R1	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想地の調査を行う。	R3	【R3成果目標】 工場適地の指定:1地域	-	-
05 名護市	11 ①	後年度	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1	二見以北地域の住民及び観光客の公共交通に係る利便性を確保するため、持続可能で安定した公共交通の導入に向けたデマンド型の乗合タクシー及びコミュニティバスの実証実験を行う。	R3	【R3成果目標】 ・自走化による本格運行	-	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
06 糸満市	1	④ 後年度	糸満のくらし体感施設整備事業	H27 ～ H30	本市を訪れる観光客や市民が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。	R2	【R2成果目標】 年間利用客数11万人 (市民9万人、観光客2万人)	来場者数7.62万人	未
06 糸満市	2	① 後年度	省エネ設備化推進事業	H24 ～ H29	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。	R2	【R2成果目標】 ・西崎運動公園大型照明施設省エネ化によるCO2を年間180,000kg削減 ・西崎運動公園内ボイラー省エネ化によるCO2を年間約46,000kg削減	・西崎運動公園大型照明施設省エネ化によるCO2を年間205,327kg削減 ・西崎運動公園内ボイラー省エネ化によるCO2を年間約78,911kg削減	◎
06 糸満市	3	② 後年度	観光地危機管理対策事業	H28 ～ R1	大型ホテルやマリンレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備を行う。	R2	【R2成果目標】 整備した資器材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
06 糸満市	5	① 後年度	再生水等循環型に関する実証事業	H29 ～ H30	再生水の農業利用や公共施設での利用(公園の芝管理等)を実用化することを目的に、再生水製造の実証試験及び再生水栽培作物の実証栽培・販売を実施し、水資源循環型を構築する。	R4	【R4成果目標】 実証事業の成果及び今後策定した基本構想・計画等を基に定めた指標を目標とした再生水の実用化に係る施策を実施していく。	-	-
07 沖縄市	5	⑤ 中期的	(仮称)雇用促進施設整備事業	H26 ～ H28	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	R3	就労者数 350人(H30年度) 400人(R1年度) 450人(R2年度) 500人(R3年度)	R2年度 460人	-
08 豊見城市	1	① 中期的	瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	平成24年度策定の「瀬長島観光拠点整備計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い、島全体の利便性の向上を図る。	R3	【R3成果目標】 事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数:160万人	-	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	1 ④	後年度	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R1	新たな公共交通システムの導入を目指し、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用促進をするため、昨年度の検討、整理を行った実施施策に基づいて、市内一周バスのルート検証を行う。	R2	【R2成果目標】 市内一周バス再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート及び実態調査で検証する。	・アンケート未実施 (新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、調査を見送り)	未
08 豊見城市	4 ⑫	後年度	学習環境等整備事業	R1	市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。	R2	【R2成果目標】 ・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合80%以上 ・漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数 0件	・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合 84%以上 ・漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数 0件	◎
08 豊見城市	5 ①	後年度	組踊継承事業	H29 ～ R1	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	R2	【R2成果目標】 組踊「雪払」練習会参加者数 20人/年	組踊「雪払」練習会参加者数 0人/年 (新型コロナウイルス感染拡大で練習会は中止、稽古用上演台本80部増刷に変更して実施)	未
08 豊見城市	6	後年度	豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行う。	R2	【R2成果目標】 合宿誘致件数: 5件 利用者数等: 30,000人	合宿誘致件数: 4件 利用者数等: 16,727人	△
09 うるま市	3 ⑥	後年度	石川体育館機能強化事業	H30	石川体育館の機能強化を行い、スポーツ合宿の誘致等を図る。	R3	【R3成果目標】 石川体育館を活用したスポーツ合宿等の誘致数: 1件以上	-	-
09 うるま市	3 ⑦	後年度	地域Wi-Fi環境整備事業	H30	無線アクセスポイントを整備し、外国人観光客の利便性向上を図る。	R3	【R3成果目標】 外国人観光客に対して、Wi-Fiの満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	-	-
09 うるま市	7 ①	後年度	循環型農業促進事業	H30 ～ R1	循環型農業促進事業基本計画を策定し、家畜排せつ物の堆肥化による農地への還元に向けた循環型農業の促進を目指す。	R3	【R3成果目標】 家畜排せつ物の事故処理率18.3%	家畜排せつ物の事故処理率0.0%	-
10 宮古島市	1 ②	後年度	観光拠点施設整備事業	R1	観光誘客及び満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。	R3	【R2成果目標】 ・年間利用客数37,560人 ・観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価	
10 宮古島市	1	④	後年度	新城海岸環境整備事業	H28 ～ R1	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設工事を実施する。	R3	【R2成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
10 宮古島市	1	⑦	後年度	観光施設美装化事業	R1	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、竜宮城展望台内外壁の美装化塗装工事を実施する。	R3	【R2成果目標】 ・魅力的な観光地にふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
10 宮古島市	1	⑦	後年度	賑わいのまちづくり事業	H28 ～ H30	中心市街地の活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場の整備を行う。	R4	【R4成果目標】 公有財産購入完了	-	-
10 宮古島市	3	③	後年度	下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業	H30 ～ R1	下地島空港を利用する観光客等の誘客を図るため、地域の資源・魅力を感じられるコンテンツ(短時間周遊や体験プログラム等)の強化・改善を行う。	R2	【R2成果目標】 R1事業内容を踏まえ、コンテンツ利用者数に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興策につなげる。(WEBページへのアクセス数2,600件)	3,385件	◎
10 宮古島市	4	②	後年度	宮古島市天然ガス資源利活用推進事業	H28 ～ H29	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水(温泉水)を利活用した事業化実現のため、マーケティング調査等を実施し、利活用基本計画の策定を行う。	R8	【R8成果目標】 天然ガスを活用した温浴施設を伴うホテルの開業	天然ガスに関する活用方針を定め、関連事業者と協議を行った。	-
10 宮古島市	5	③	後年度	来間東航路標識灯設置事業	H30 ～ R1	航路の安全性を確保するため、南パヤオ(伊良部南浮魚礁)に航路標識灯(灯標)3基を設置する。	R2	【R2成果目標】 来間東航路夜間航行事故発生の防止発生件数0件を目標にする。	事故発生件数0件	◎
11 南城市	1	⑤	後年度	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その3)を策定する。	R2	【R2成果目標】 地域ごとのエコミュージアム計画を基に、観光誘客を目的とした事業の実施に繋げる。	事業の実施完了。	◎

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
11 南城市	1	⑧	中期的	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ R1	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	R2  ①駐車場利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。 ②整備した駐車場を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する	①60% ②0回	未
12 国頭村	3	①	後年度	やんばるの森拠点施設活用推進事業	H29	国頭村森林公園の顧客ニーズの把握、施設の課題調査、施設の管理運営方法の提案、今後の施設整備の概略予算の算定を行い、やんばるの森の拠点施設として活用するための管理運営方針を策定する。	R3  【R3年度】 国頭村森林公園の来場者数:24,317人以上	6,361	-
12 国頭村	8	②	後年度	奥区地域づくり計画策定事業	H27 ～ H29	「地域づくりゆんたく会」の開催やツアープログラムメニューの開発による具体的手法の確立及び実施体制の構築を図るため、事業の具体化に向けた取組の実施や3ヶ年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理する。	R3  イベント・ツアーへの参加者数:272人以上	0人	-
12 国頭村	9	①	中期的	幼保連携型総合施設整備事業	H26 ～ H29	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	R2  子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	87.5%	◎
13 大宜味村	4	①	後年度	大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28 ～ R1	働く保護者等の子育て支援の充実を図るため、幼保連携型総合施設を整備する。	R2  【R2成果目標】 ・供用開始1年目(令和2年度)の目標を以下のとおりとする。 子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	子育て支援が充実したか 93%	◎
14 東村	1	③	後年度	東村企業研修プログラム構築事業	H29 ～ R1	PA(プロジェクトアドベンチャー:冒険教育)を基本にして体験学習の手法を取り入れたものを活用した企業研修プログラムの構築・販売を行うことで、交流人口の拡大が期待される。各ツーリズム及び観光施設を組み合わせたプログラムの開発を行うことで相乗効果を図る。	R2  年間企業研修 10社以上	年間企業研修 0社	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
14 東村	4	① 後年度	避難経路整備事業	H30 ～ R1	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。	R2	【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年以上)により、本事業を検証する。	避難訓練を年1回実施	◎
15 今帰仁村	2	⑦ 後年度	今帰仁城跡等情報発信強化事業	R1	映像コンテンツを用いた情報発信により村の認知度向上を図り、観光誘客へつなげる。	R2	【R2成果目標】 今帰仁城跡公式HP(観光情報)アクセス数10万件	今帰仁城跡公式HP(観光情報)アクセス数132,279件	◎
15 今帰仁村	2	⑧ 後年度	今帰仁村観光リゾート振興計画	H30	観光振興を図る為、今帰仁村の観光の現状や課題の分析などを行い、観光振興事業の指針となる今帰仁村観光リゾート振興計画を策定する。	R2	【R5成果目標】 村内主要観光地の入込客数 880,000人	-	-
16 本部町	1	④ 後年度	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ R1	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	R2	策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 ・町内ホテル定員稼働率55%以上	町内ホテル定員稼働率12%	未
16 本部町	2	⑤ 後年度	農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	R4	【R4成果目標】 基本計画の中で、整備戸数を設定し、全戸数の担い手の入居を目指す。	-	-
16 本部町	2	⑥ 後年度	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25 ～ R1	本町では少数飼育農家が多数であり、定期的に一定量の出荷が難しいことや粗飼料自給率が低いことから、経営を逼迫している状況である。そのため各地区に共同山羊舎の整備及び機械導入を行うことで、畜産農家の経営安定化を図る。	R2	【R2成果目標】 粗飼料自給率66%以上	粗飼料自給率69%	◎
16 本部町	6	① 後年度	防災施設機能強化整備事業	H29 ～ R1	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	R2	【R2成果目標】 本避難路を活用した避難訓練の実施(2回/年)し、安全・安心に避難できたか(80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・避難訓練を年2回実施 ・訓練参加者の「安心・安全に避難できた」という回答の割合100%	◎
17 恩納村	2	① 後年度	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、排水路を整備する。今年度は、第2期改修工事を行う。	R3	【R3成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件	台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件	-
18 宜野座村	1	⑤ 中期的	リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)	H24 ～ R3	観光振興を図るため、観光拠点施設の整備を行う。	R3	【R3成果目標】 年間入場者数200,000人以上	-	-

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	3	②	後年度 農業用観光施設モデル整備事業	H28 ～ R1	県内外から多くのイチゴ狩り来客者を受け入れることで、観光型農業による本村観光の振興を図るため、イチゴ用ハウス及び作業棟の整備を行う。	R2	【R2成果目標】 来客者数4,100人以上	来客者数1,251人	未
19 金武町	6	1	後年度 「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ R1	「金武町の民話と伝説」及び「金武町の偉人」を絵本化し、学校、地区公民館、県内図書館、海外金武町人会等に配布する。	R2	【R2成果目標】 寄贈先の読者へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	新型コロナウイルス感染拡大の影響でアンケートの実施が行えなかった。	未
19 金武町	6	①	後年度 ギンバル海浜公園整備事業	H27 ～ R2	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウェルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。 そのギンバル訓練場跡地において、地域住民及び観光客等が安全で快適に利用できる海浜公園を整備し誘客を図る事で、跡地利用を促進し、観光リゾートの実現を目指す。	R4	【R4成果目標】 ギンバル海浜公園の利用者数20,005人	-	-
19 金武町		③	後年度 金武町フットボールセンター機能強化事業	H30	施設の利便性を向上させることにより、プロサッカーチームのキャンプ及びより大規模な大会を受け入れ、町の観光やスポーツの振興を図る。	R2	【R2成果目標】 ・プロサッカーキャンプ実施チーム 2チーム ・大規模大会開催 5大会	・プロサッカーキャンプ 1チーム ・大規模大会開催 0大会	未
20 伊江村	2	①	後年度 離島定住環境基盤整備事業	H30 ～ R1	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷捌きを実施できる施設を整備する。	R2	【R2成果目標】 利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・本部港荷捌き施設の建設については、令和元年度10月末で整備が完了し、令和元年11月から供用開始されている。アンケート調査結果については、利便性が図られたとする回答が80%以上であった。	◎
20 伊江村	3	①	後年度 墓地整備基本計画策定事業	H29	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、現状の調査、許可区域の選定、運営方針等の基本計画を策定する。	R3	【R3成果目標】 令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。	令和2年度の墓地契約件数は6件	-
20 伊江村	5	3	後年度 伊江村観光危機管理計画策定事業	H30	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。	R2	【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画を策定した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、避難訓練未実施。	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
20 伊江村	9	① 後年度	伊江村パークゴルフ場整備事業	R1	新たな観光誘客施設としてパークゴルフ場を整備し、伊江島ハイビスカス園等とも連携した滞在型観光への取り組みを行う。	R2	【R2成果目標】 R2年度利用者数:15,150人	【R2成果目標】 R2年度利用者数:5,786人	未
20 伊江村	9	① 後年度	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ~ R2	伊江村多目的交流センターの基本構想を策定し、施設に求められる役割や導入機能及び必要規模等の整理や村内の合意形成等を図る事によって、本村の推進するスポーツコンベンションを推進し、合宿や教育旅行民泊の受け入れ人数の増加を図る。	R4	令和4年度以降に行う実施設計業務において、受け入れ人数や稼働率等の目標値を設定する。	-	-
20 伊江村	9	⑤ 後年度	伊江村観光振興基本計画策定事業	H29	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。 また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインバウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。	R3	【R3成果目標】 入域観光客数 158,000人/年 (参考) H27年度 136,000人/年	【R2成果目標】 入域観光客数39,464人	-
21 読谷村	1	⑦ 後年度	読谷村陸上競技場北側植栽整備事業	H30	スポーツキャンプの誘致のため、北風対策として読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。	R2	【R2成果目標】 ・スポーツキャンプ誘致:8件	【R2成果目標】 ・スポーツキャンプ誘致:0件	未
21 読谷村	3	① 後年度	米軍施設返還に伴う雨水排水増加の既設水路現況調査及び排水計画策定事業	H28 ~ H29	読谷村では、返還後の跡地利用計画を策定し土地利用を進めているところであるが、その結果、既設水路の能力を超える排水が流れ込み下流側において、道路冠水や家屋への床上浸水・床下浸水が発生している。これらの既設水路の能力を評価するとともに必要な排水計画を策定することで、返還軍用地の本格的な跡地利用を円滑に実施するための基礎資料とし、生活環境の改善を図る。	R3	【R3年度】 計画に基づき設計、工事を着手	-	-
21 読谷村	3	① 後年度	読谷補助飛行場「大木地区」廃棄物処理委託事業	H30	大木地区の土地区画整理事業を進捗させるため、廃棄物の処理を行う。	R9	【R9成果目標】 大木地区の土地区画整理事業の進捗率100%	大木地区の土地区画整理事業の進捗率40%	-



## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
21 読谷村	3	② 後年度	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」区画整理事業調査事業	H28 ～ H29	トリイ通信施設跡地の跡地利用を図るため、トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画整理事業に向けた施行地区の設定、区画整理設計、事業計画の作成、実施計画の作成を行う。	R3	【R3成果目標】 地権者の合意形成を行い、区画整理事業に向け組合設立の認可を受ける。	地権者の合意形成を行い、区画整理事業に向け組合設立の認可を受けた。	◎
21 読谷村	6	① 後年度	地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25 ～ H29	年間を通した多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通した地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。	R2	【R2成果目標】 収穫量:7.69t	収穫量:6.36t	○
21 読谷村	4	④ 中期的	ユンタンザミュージアム建設事業	H26 ～ H29	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産座喜味城跡や村内歴史文化資源のガイド機能拡充し観光振興を図る。	R4	来館者数:38,500人	来館者数:10,337人	-
22 嘉手納町	2	⑧ 後年度	『嘉手納町の歴史と文化』刊行事業	R1	嘉手納町の歴史文化の継承を図るため、本町の歴史と文化をまとめた副読本を刊行、小中学校に配布し、社会科の授業や総合的な学習の時間で活用する。	R2	【R2成果目標】 ・中学校で副読本を授業で活用し、学習したことの発表会を行う。 ・児童生徒に対するアンケートを実施し、町の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	・中学校で副読本を授業で活用し、学習したことの発表会実施。 ・町の歴史文化への理解が深まったと回答した児童の割合:93%	◎
22 嘉手納町	7	① 後年度	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ～ H31	防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品等の導入に合わせた備蓄倉庫の整備を行い、災害時の町内避難者や観光客等の食料及び飲料水等の確保を図る。	R2	【R2成果目標】 防災備蓄品等を活用した啓発活動(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	防災備蓄品等を活用した啓発活動:1回/年	◎
22 嘉手納町	7	② 後年度	嘉手納町防災情報発信強化事業	H29 ～ R1	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、本庁舎と町内沿岸地域、集落地域とを無線で結び屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築する為の基本計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 防災無線を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未実施。 次年度に検証する。	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	7	② 後年度	防災啓発事業	R1	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、ハザードマップや避難場所の情報を掲載した防災マップを作成し、住民及び観光客等に配布する。	R2	【R2成果目標】 作成した防災マップ等を活用した訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	作成した防災マップ等を活用した訓練を実施:1回/年	◎
23 北谷町	1	③ 後年度	西海岸歩行者ネットワーク整備事業	H24 ~ R1	観光客や町民が本町西海岸の観光スポット等を散策出来るよう、遊歩道を整備する。	R2	【R2成果目標】 遊歩道歩行者数13万人/年	遊歩道歩行者数13.9万人/年	◎
24 北中城村	1	⑤ 後年度	ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ~ R1	本村の魅力を伝えられるような景観形成を図るため、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	R2	【R2成果目標】 ・地域イベント等への参加者に対し、魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	アンケート調査結果 32%	未
24 北中城村	1	⑨ 後年度	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ~ R1	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワープラザ地区やその周辺一体が村の観光交流拠点としてまちづくりが行えるよう基本構想の検討を行う。	R2	【R2成果目標】 策定する基本計画において成果を設定する。	未設定	未
24 北中城村	1	⑪ 後年度	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ~ R3	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源としての活用を図るため、必要な湧水の確保対策に向けた検討及び散策路として整備するための実施設計を行う。	R4	【R4成果目標】 散策路整備により満足度が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	-	-
24 北中城村	4	③ 後年度	農を活かした北中城活性化事業	H28 ~ R2	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品(試作品)のテスト販売等を行うことで、市場性等の検証を行う。また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化実証に向けた基本設計及び実施計画を策定する。	R5	【R2成果目標】 ・水耕栽培農業者の増:0→6件 ・6次産業化による村の特産品開発:3品以上 【今後のスケジュール】 ・6次産業化による特産品の商品化に向け取り組む。  【R3以降の成果目標】 ・村施設として導入:0→1件(R3) ・民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:0→2件(R5)	【R2成果目標】 ・水耕栽培農業者の増:0→6件 ・6次産業化による村の特産品開発:3品	-
24 北中城村	4	④ 後年度	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ~ R2	農を活かした「食」「福祉」「交流」「環境」に関する施設を整備するため、事業化計画の策定を行う。	R4	【R4成果目標】 循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの実現として再生可能資源を活用してエネルギー(年間20万KWh)を生産し、コンテナ式水耕施設(40F)5基の稼働と200坪程度の園芸施設に供給を図る。	-	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
25 中城村	1 ②	後年度	災害時避難所給電システム導入事業	R1	CO2排出量の削減を図るため、また、災害時の住民及び観光客等の避難所における安心安全の確保を図るため、災害発生時に避難所への電力供給も可能な電気自動車及び機器を整備する。	R2	【R2成果目標】 ①整備した電気自動車及び給電機器を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施し、本事業のあり方について検証する。 ②電気自動車導入による二酸化炭素排出量の削減効果:1,440kg-CO2/年の削減	①整備した電気自動車及び給電機器を活用した避難訓練 3回実施 ②電気自動車導入による二酸化炭素排出量の削減効果:551.5kg-CO2/年の削減	△
25 中城村	2 ④	後年度	中城城跡受入基盤機能強化整備事業	H29 ~ R1	中城城跡馬場広場は降雨による冠水が多発し、来訪者の往来に支障が生じることがある。来訪者の利便性を確保するため、広場の排水性を高めるための工事を行う。	R2	【R2成果目標】 前日の悪天候による広場の状態悪化により、イベントを中止した回数:0回	前日の悪天候による広場の状態悪化により、イベントを中止した回数:0回	◎
25 中城村	2 ⑥	後年度	歴史の道整備事業	H27 ~ R1	観光客等の安全確保を図るため、歴史の道の一部であるフクビリ橋の機能強化整備を行う。	R2	【R2成果目標】 歩行時の安全性が確保されているか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業の効果について検証する。	アンケート調査結果 88.9%	◎
25 中城村	5 ②	後年度	村内文化財整備事業	H28 ~ R1	本村の歴史文化の継承を図るため、村指定文化財(史跡)「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替えを行う。	R2	【R2成果目標】 伊舎堂前の三本ガジマルを活用した学習会等の参加者数:80人以上	伊舎堂前の三本ガジマルを活用した学習会等の参加者数:100人	◎
25 中城村	6 ①	後年度	島ニンジン栽培研究事業	H27 ~ R1	中城村の農業の発展に向け、特産品である島ニンジンの品質向上及び栽培方法の統一化を図り、伝統野菜である島ニンジンの品質及び生産量の向上を目指す。	R1	【R1成果目標】 島ニンジンの形質平均値 長さ43cm、重量175g、幅3cm	長さ:42cm、重量:212g、幅:3cm	△
25 中城村	6 ①	後年度	中城村農業振興ビジョン策定事業	H30 ~ R1	本村の農業振興を図るため、本村が目指す農業振興の将来像や目標、施策展開の基本方針を定めた農業振興ビジョンを策定する。	R2	【R2成果目標】 農業振興ビジョンを基にした実施計画の作成	農業振興ビジョンを基にした実施計画の作成完了	◎
25 中城村		中期的	(仮称)護佐丸歴史資料図書館整備事業	H29	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として、(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。	R3	【R3成果目標】 年間利用者数 91,300人	-	-
27 与那原町	9 ①	後年度	与那原町健康づくり支援環境整備事業	H29 ~ R1	健康な体をつくり、健康・長寿を達成するために、与那古浜公園内の施設整備を行う。	R4	【R4成果目標】 年間利用者数 1,910人以上	-	-

## 【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
27 与那原町	9	後年度	東浜水路散策路照明灯設置事業	H29 ～ H30	観光客の誘客を図る為、散策路照明を設置する為の詳細設計を行う。	R	【R2成果目標】 東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上。	未実施	未
27 与那原町	15	後年度	東浜水路観光創造水質浄化整備事業	H29 ～ H30	東浜水路の水質を改善や水辺環境の整備を実施することで、東浜水路周辺を観光資源として活用する。	R4	【R2成果目標】 東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上	東浜水路イベントに参加した観光客数630人	◎
27 与那原町		中期的	来訪者と町民の交流施設整備事業	H25 ～ H28	来訪者と町民が親睦を深める交流会の開催が可能な施設を整備し、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。また、台風や地震といった災害時には来訪者の避難場所として活用し、安全安心な観光受け入れ体制を整備し本庁の観光振興を図る。	H30	【R2成果目標】 複合的な機能を持つ観光交流施設利用者数90,000人以上	利用者数66,306人	○
28 南風原町	1 ⑫	後年度	幼稚園空調機設置事業	H30 ～ R1	気温が高い期間が長期にわたる沖縄で園児の健康維持や熱中症対策をおこなう必要があるため、幼稚園に冷房機を設置する。	R2	・冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	暑さで体調不良となる園児数0人	◎
28 南風原町	3 ⑤	後年度	南風原町景観計画策定事業	H28 ～ H30	観光地として魅力ある景観形成を図るため、昨年度の基礎調査を踏まえ、町内全12字すべてにおいてワークショップ(住民意見交換会)を実施し、景観計画(案)の検討・作成を行う。	R2	【R2成果目標】 策定した計画について、南風原町景観審議会で大規模開発の適合チェック等(年1回以上)を行うことで、本事業を検証することとする。	南風原町景観審議会にて大規模開発の適合チェック及び、本計画の検証を行った。	◎
28 南風原町	4 ②	後年度	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ～ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	R2	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	避難訓練実施0回	未
28 南風原町	4 ③	後年度	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ～ H29	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。	R2	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	避難訓練実施0回	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	1 ⑥	後年度	渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ～ R1	景観計画の策定に向けた基礎調査の実施。(計画策定の意義・役割の明確化。村民意向の把握。景観資源及び地域活動団体等の把握。特性と課題の整理。庁内会議の開催支援。)	R2	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	渡嘉敷島の自然景観についての印象は、魅力的である(93.5%)	◎
29 渡嘉敷村	4 ①	後年度	歴史文化資産保存活用事業	H29 ～ R1	村内に現存または未調査の文化財等の現況把握調査及び沖縄戦に関わる史実の聞き取り調査を行い資料として作成・保存する。また、作成した歴史文化資料等を活用した平和学習等を行うことで、村民が学べる機会を増やすとともに、観光振興にも繋げる。	R2	【R2成果目標】 ①資料を活用し、平和学習会等を実施した修学旅行学校数 3校 ②資料を活用した学習会への参加人数 50名	①平和学習会等を実施した修学旅行学校数 0校 ②資料を活用した学習会への参加人数133名	△
29 渡嘉敷村	5 ①	後年度	渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29 ～ R1	地域防災力を向上させるため、避難場所・避難所台帳等の防災情報を整理し、ポータルサイトで確認できるシステムを構築する。本村のホームページに、ポータルサイト「渡嘉敷村防災情報 とかしきMAP」を公開し、村民や観光客等が防災情報を活用することで安全性を確保する。	R2	【R2成果目標】 観光客等が参加する避難訓練時において、津波・土砂災害避難計画や公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	アンケートの検証の結果、安全性が確保されたと回答した割合は74.5%だった。	○
30 座間味村	1 ④	後年度	座間味村景観計画策定事業	H29 ～ R1	文化の継承及び魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 策定した景観計画に基づき、景観形成に向けた取組の実施につなげる。	各種取組の実施	◎
31 粟国村	1 ②	後年度	景観計画策定事業	H28 ～ H30	「粟国島」の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向け、景観計画の策定等に取り組む。	R2	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたかアンケートを実施 80%以上	【R2成果実績】 82%	◎
32 渡名喜村	6 ①	後年度	渡名喜村フォトツーリズム事業	H30	フォトツーリズム事業を行うため、フォトガイドブックやポスター等を作成し、県内外へ周知していく。	R2	【R2成果目標】 ・フォトツーリズム関連の観光客数:25人以上	未実施	未

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
33 南大東村	2 ③	後年度	星野洞機能強化整備事業	H29	星野洞は、神秘的な空間が広がる島一番の観光施設であるが、洞内の照明施設は、鍾乳石に悪影響を及ぼす照明であることから、全てをLED照明に取替えて学術的にも貴重な鍾乳石の環境保全と観光振興を図る。併せて、入洞扉を強化整備すると共に専門家への鍾乳洞診断を委託する等、洞窟全体の機能強化を図る。	R3	年間入洞者数2,400人	-	-
33 南大東村	4 ②	後年度	南大東村移動式大型クレーン車整備事業	H29	南大東村は海岸周辺部が断崖絶壁となっていることから、出漁に際しては大型クレーンにより小型漁船を海面へ運搬する必要が生じる。このため急変する海上気象条件等、厳しい南大東島の漁業の現状に対応できる大型クレーンを導入した。	R4	・大型クレーン導入の完了後、漁業者の平均漁獲量(H30～R4の5カ年平均漁獲量 100t)	-	-
34 北大東村	9 1	後年度	農業用水路防災・減災事業	H30	台風等の豪雨による圃場等の洗堀及び干ばつによるさとうきび等への被害を防ぎ、安定した生産を図るため、農業用排水路の整備に向けた概略設計を行う。	R6	【R6成果目標】 さとうきび生産量 15,734 トン以上	-	-
35 伊平屋村	1 ④	後年度	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H30	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、海浜公園内の植栽管理及び緑化推進体制の整備を行う。	R3	【R3年度成果目標】 観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、米崎海浜公園の景観形成のあり方についてアンケート調査により検証する。	-	-
35 伊平屋村	2 ③	後年度	伊平屋村農業用資材(堆肥)供給施設機能強化事業	H28 ～ R1	農堆肥活用による農作物の生産性の向上と村内環境保全を図るため、村内家庭や飲食店等からの生ゴミ、自然災害等により発生する雑木、雑草等の資源の有効利用を図り、安定した質の良い堆肥の生産を実現する為、既存堆肥センターの施設機能の整備、堆肥製造に必要な不可欠な各種機械等の機能強化を図り、堆肥の安定的な生産と堆肥利用による本村農業の振興発展と村民の生活環境の保全を図る。	R3	【R3成果目標】 堆肥生産量 857t	-	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」、「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」、「未達成」・・・「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
37 久米島町	3	④ 後年度	久米島町観光危機管理体制構築事業	R1	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 ・避難訓練を実施し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで本事業のあり方を検証する。	未実施	未
37 久米島町	4	① 中期的	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ R1	災害時は、住民及び災害時要援護者等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。	R3	【R2成果目標】 (災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。  (平常時) ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く) ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上	・避難訓練及びアンケート 未実施 ・施設の年間利用者数 6,693人 ・図書館の年間貸出冊数 8,536点	-
37 久米島町	4	③ 後年度	久米島霊園整備事業	H30 ～ R1	墓地の散財化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	R3	【R3成果目標】 霊園施設利用世帯:16世帯以上	-	-
38 八重瀬町	2	④ 後年度	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H30 ～ R3	伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るため、生涯学習・文化振興拠点施設を整備する。	R4	【R4成果目標】 供用開始後1年目(平成34年度)において、 ①伝統芸能演舞者数 660人以上 ②年間施設利用者数 30,000人以上 を目指す。	-	-
38 八重瀬町	2	⑩ 後年度	八重瀬町観光拠点施設整備事業	H27 ～ H30	本町の観光を推進する拠点機能としての観光インフォメーション施設、特産品等の販売施設、体験型・交流観光推進施設等の観光振興機能の導入を図るとともに、沖縄本島南部観光における中継地点として利用されるよう整備する。	R4	【R3年度成果目標】 施設来場者数300,000人以上	-	-
38 八重瀬町	8	① 後年度	八重瀬町農業機械施設整備事業	R1 ～ R2	共同利用機械等を農業団体等へ貸与することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。	R3	【R3成果目標】 (液肥散布車) サトウキビの生産コスト(施肥)の5%以上低減(いも類収穫機等) 栽培面積及び収穫量の割合を5%以上増加	-	-

## 【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」、「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」、「未達成」…「未」  
 「R2年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R2年度成果実績(指標)	評価
40 竹富町	1 ④	後年度	干立地区防災機能改善事業	H29 ～ R1	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	R2	【R2成果目標】 整備完了後1年目(R22年度)の目標を以下のとおりとする。 ①整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ②避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
40 竹富町	4 ④	後年度	登録有形文化財(建造物)なごみの塔周辺整備事業	R1	登録文化財を活用し観光誘客を図るため、危険建造物となっている登録有形文化財(建造物)なごみの塔を修理し、観光イベントに活用する。	R2	【R2成果目標】 なごみの塔の限定公開イベント(年12回)の際に等に昇降する延べ人数:1,560人以上/年	未実施	未
41 与那国町	1 ⑥	後年度	海底景観資源調査事業	H29 ～ R1	海底地形の観光資源化等に向け、測深調査を実施して、精密地形図の基になるデータを取得する。	R2	作成した海底地形図を活用したグラスボートツアー等の参加者数 3,100人	作成した海底地形図を活用したグラスボートツアー等の参加者数 1,000人	未
41 与那国町	7 ④	後年度	与那国町デマンド交通運行事業	R1	住民及び観光客の島内交通に係る利便性の確保を図るため、ICTを活用したデマンド交通を導入する。	R2	【R2成果目標】 デマンド交通試行運行の結果等を踏まえ、町における公共交通の目標利用者数を設定し、離島地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取組の確実な実施につなげる。	未実施	未